

新山梨環状道路連絡調整会議 (第1回)

資料

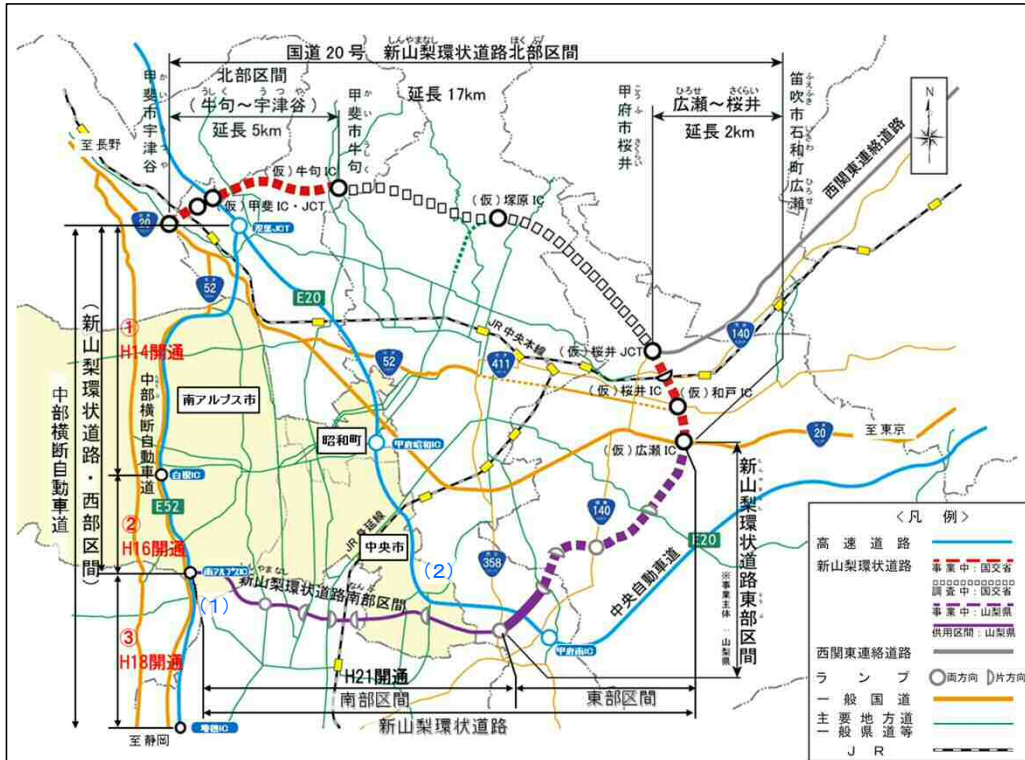
令和5年12月25日

関東地方整備局 甲府河川国道事務所
山梨県

2. 新山梨環状道路の整備効果

- 新山梨環状道路(西部～南部区間)の開通に伴い、沿線地域へ企業が進出。
- 過去約30年間(H3～R3)で沿線自治体※の従業員者数は、13,814人(約3割)増加。
- 今後、東部～北部区間の開通により、周辺地域の更なる地域活性化に期待。

■位置図



【進出した事業所の例】



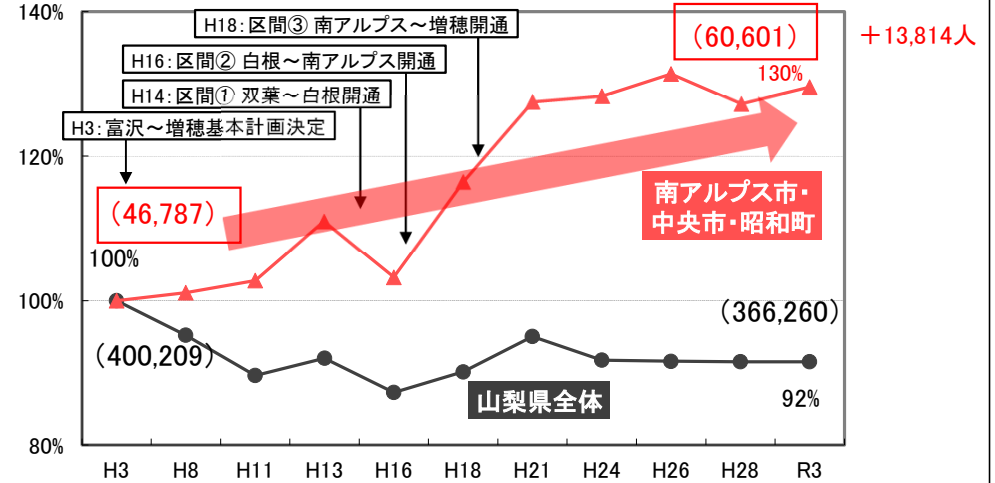
ヤマト科学株式会社南アルプス工場



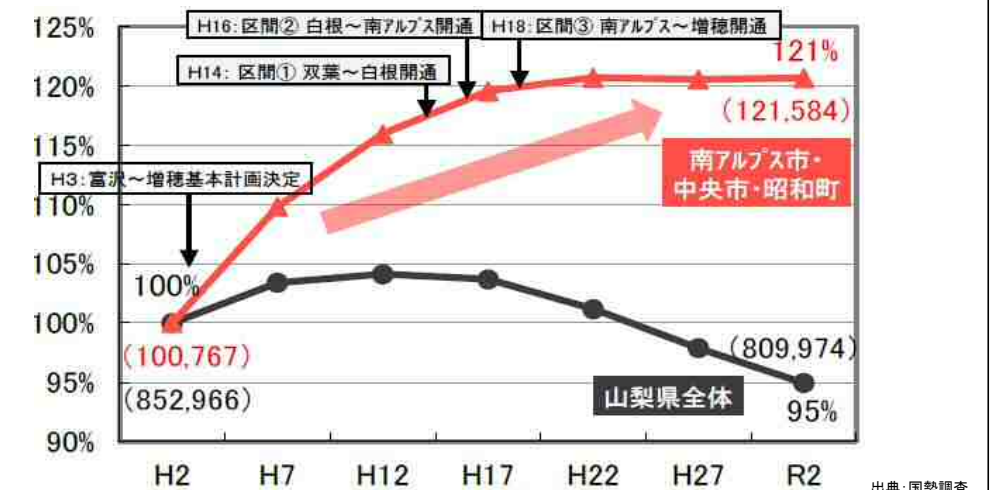
住友電工デバイス・イノベーション株式会社山梨事業所

出典:やまなし産業立地コミッション

■沿線自治体の従業員数の推移(平成3年:100%)



■沿線自治体の人口の推移(平成2年:100%)

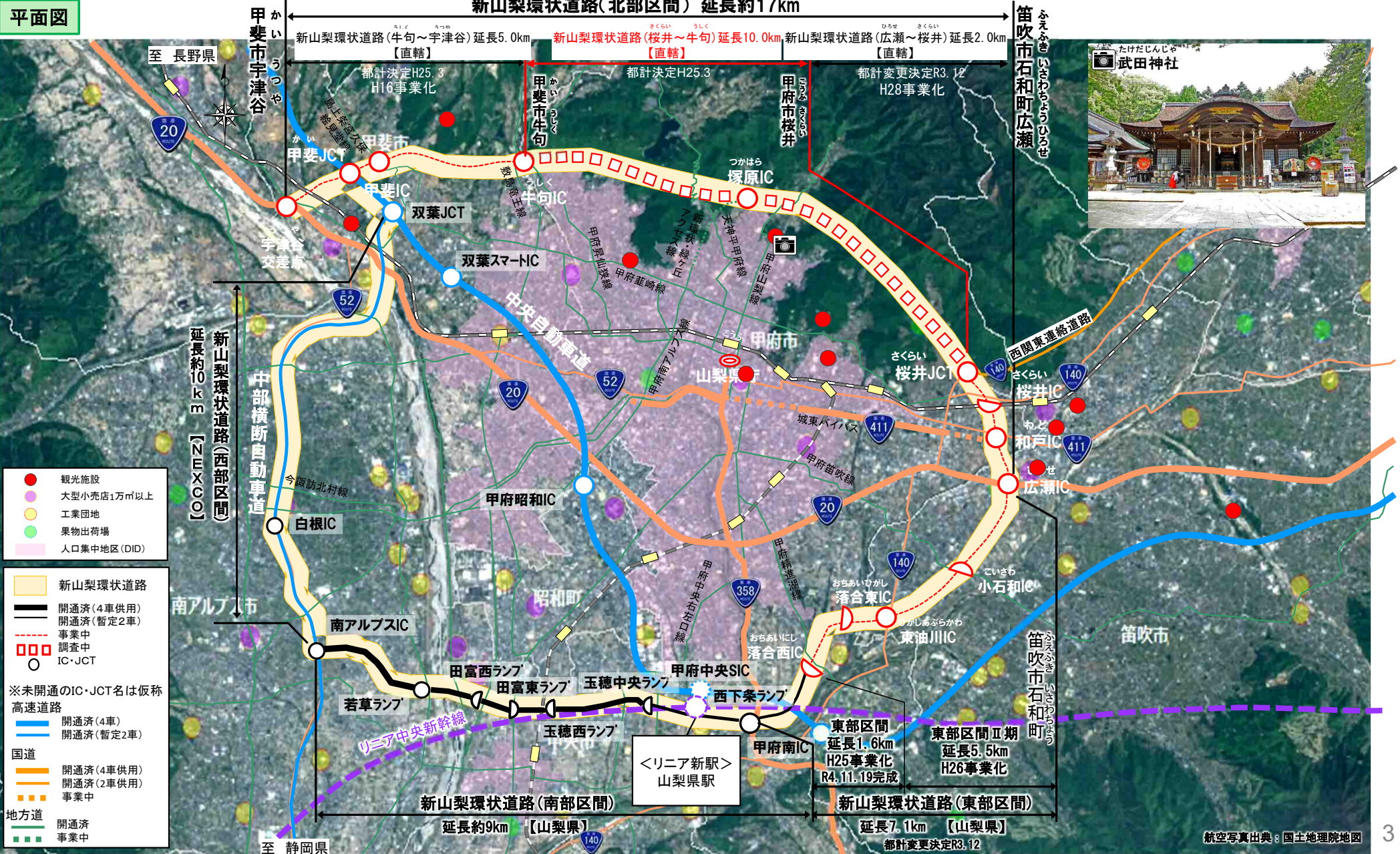


※沿線自治体:南アルプス市、中央市、昭和町

出典:山梨県HP(https://www.pref.yamanashi.jp/documents/57867/shinkanjo_jinko.pdf)

3. 新山梨環状道路周辺の様相①

- 甲府地域は急峻な山岳に囲まれた地形。山梨県内の主要な放射軸として東西方向に国道20号、南北方向に国道52号・国道140号が整備。沿線は人口集中地区となっており、市街地が形成されている。
- 工業団地、大型商業施設、果物出荷場、観光地も多く立地しており、山梨県内の中心となっている。



3. 新山梨環状道路周辺の状況②

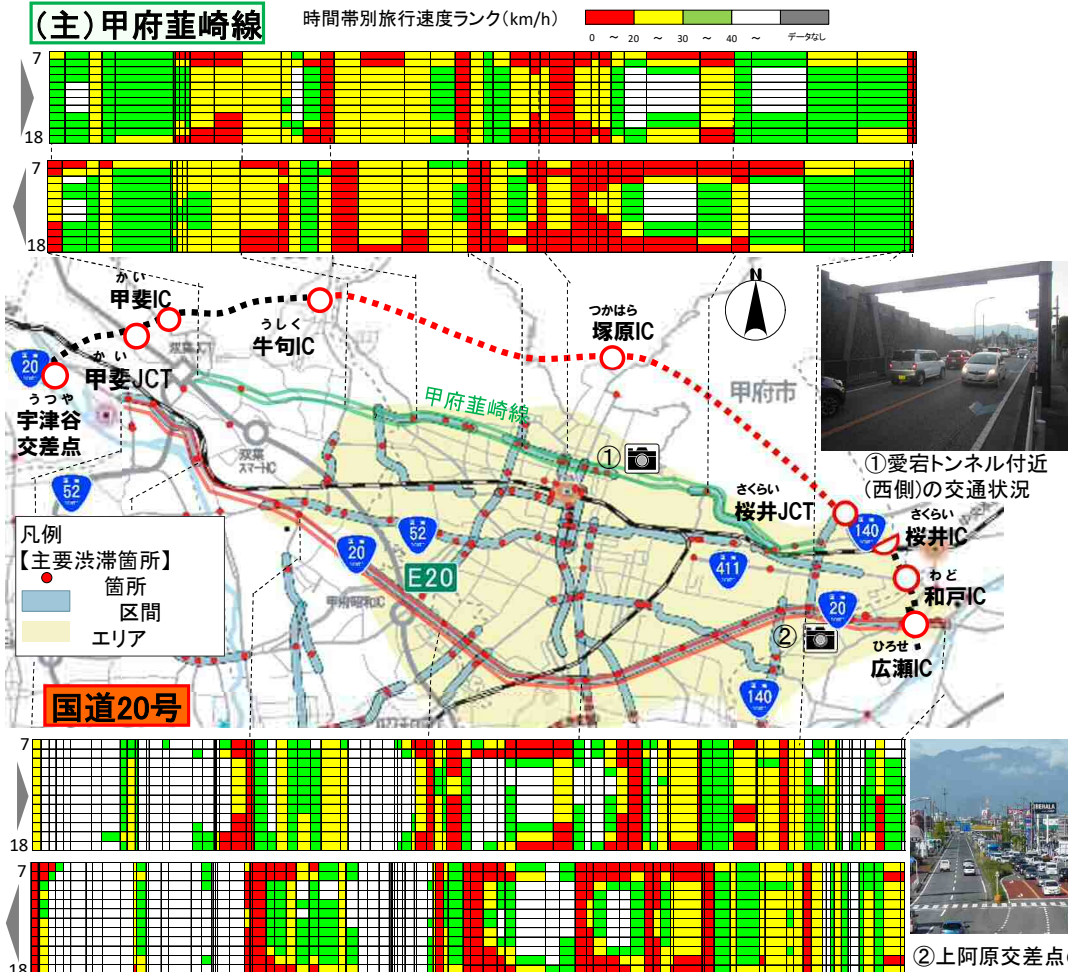
○新山梨環状の内側では、県道以上の約5割が混雑時旅行速度が20km/hを下回っている。



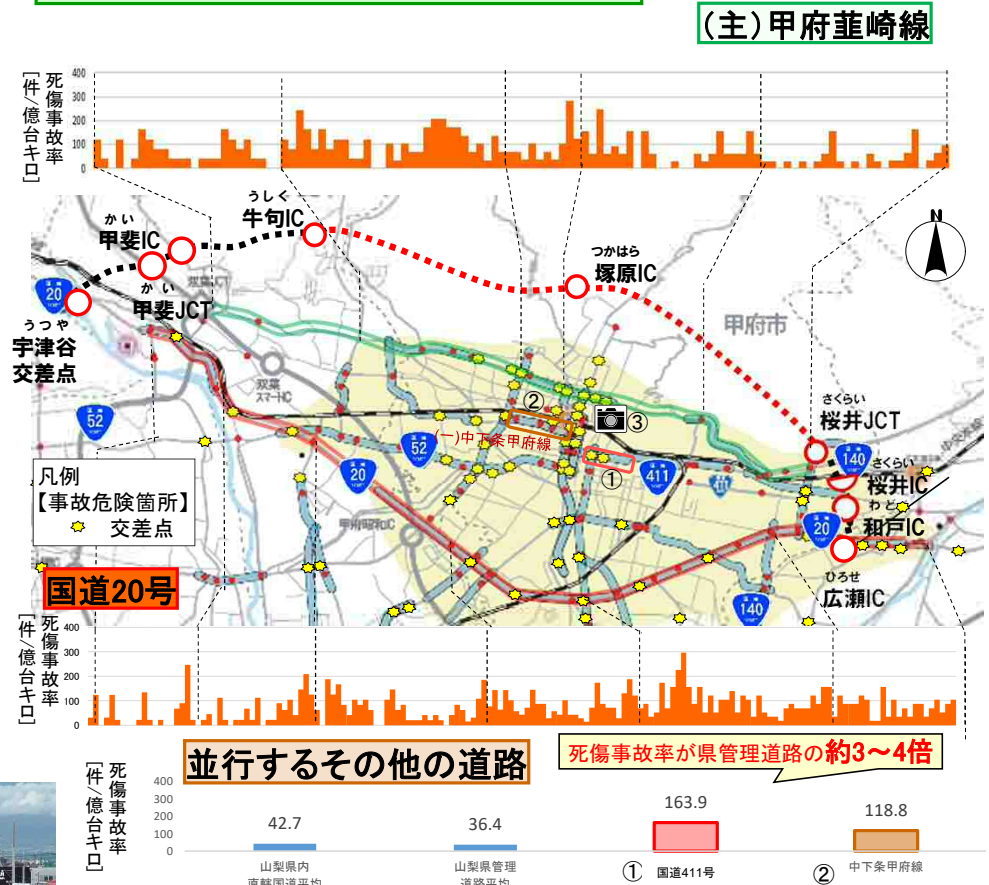
3. 新山梨環状道路周辺の状況③

○新山梨環状道路（桜井～牛匂）と並行する国道20号や県道甲府韮崎線では慢性的な渋滞が発生しているとともに、国道411号では死傷事故率が山梨県管理道路の平均の約3～4倍になっていることを確認。

国道20号と（主）甲府韮崎線の交通渋滞



並行路線の交通事故発生状況



※主要渋滞箇所の定義 箇所…単独で主要渋滞箇所を形成
区間…交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間
エリア…都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域



③ 甲府市朝日小学校通学路の地区道路(甲府市道)

出典: 事故データ ITARDAセンサス区間別データ(H30~R3)
事故危険箇所: 第24回山梨県道路交通円滑化・安全委員会(R4.8.24)より作成
写真: 2023年11月撮影

4. 山梨県からの提案事項

